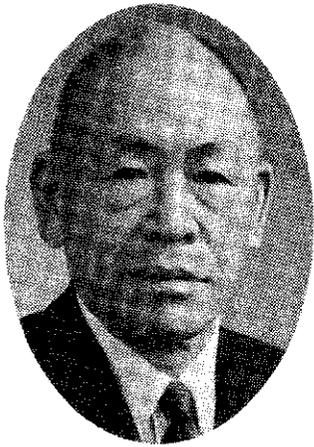


広
報
ま
つ
だ
い

昭和53年1月10日発行
第218号
新潟県松代町公民館
電話松代 7-2301番
印刷・松代印刷所



松代町長 秋山利作



昨年は、町民各位の絶大なご支援をいただき、町長選挙に当り三度無投票当選の栄誉を与えていただきまして、身も心も引締めて引き続き町政の重責の任に当って参ったわけでありますが、お蔭をもちまして昨年当初計画しました事業を殆んど予定どおり執行すること

ができました。これも偏に皆様方のご指導とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

第二の農地改革とまで言われている生産調整（水田利用再編対策）旋風につきましては、昨年来、国、県の関係者へ強力な運動を展開して参った結果、転作割当面積について、政府も傾斜配分を認め、米産県である新潟県が全国で最下位であり、しかも松代町は県内で低い方から四番目ということで、全国で四番目に低い比較的荷の軽い割当結果となったわけでありました。一月七日に推進協議会を開催して慎重にご審議いただいた結果、松代町としても政府の方針に添って割当られた目標面積の転作を達成するよう決定していただきました。

町の方針としては、個々の農家への割当ては行わず、農家の自主的な季望申込みに期待することといたしました。

転作物物としては、大豆、そば等が一番作り易く有利なものではないかと考えております。詳しいことにつきましましては、嘱託員を通じてお知らせいたしますが、国策に添いながらも、農家の方々に出来る限り有利になる方法でお願いしたいと思っておりますので、何分のご協力をお願い申し上げます。

昭和四十八年以来の物価高と不況は、政府の幾度かにわたる景気浮揚策にもかかわらず益々深刻の度を深めており、町の行財政に及ぼす影響も極めて大きく、伸び悩んでいる財源と、年々増大している町民の要望との調和をいかに図ってゆくかが今後の大きな課題となっております。

厳しい町財政の中にありながらも、創意と工夫により住民福祉の向上と過疎対策に全力を上げて取

り組んでゆく覚悟であります。当面している主な事業について若干申し上げます。

人格形成の基本である教育の充実振興につきましては、統合中学校の来年四月開校を目ざして昨年着工した本校舎の完成と新たに寄宿舎の建築を計画しております。年少児童教育の一層の充実を図るため、小学校の一部の分校について本校昇格への条件整備を行う考えです。又、県立松代高等学校特別教室棟の改築を是非とも実現すべく鋭意努力中であります。

交通網の整備につきましては、冬期間の生活道路の確保を優先に、通学道路及び通勤交通の整備拡充を図ってゆきます。それには、町民ひとしく待望している国鉄北越北線の早期開通と国道二五三号線の改良工事の早期完成を期すべく関係筋へ強力な運動を続行中でありました。

集落から幹線道路へ連絡する町道の整備については着々進行中でありますが、引続き改良舗装を行い、除雪・圧雪・機械の整備と相俟って冬期生活道路の確保に今後一層の努力を払ってゆく考えであります。

農業基盤整備につきましては、本年も大規模の圃場整備を計画すると共に、農林道の整備を行い生産性の向上と省力化を図る考えであります。

生活環境の整備では、本年は、峠地区に簡易水道の布設を計画しております。

今年には午年で飛躍の年だとも言われておりますので、干支にならって町民ひとしく飛躍できるよい年でありませう、心からお祈りして新年のごあいさつといたします。

町議会第四回定例会から

12月19日町議会第四回定例会が招集され、町職員の給与に関する条例の一部改正など10件の案件が付議・議決されました。

◎ 報告事項

第1号

総務文教常任委員会視察報告

(町内小・中学校の営繕関係について昭和52年度実施状況の視察報告及び昭和53年度予算編成に当っての小規模分校及び冬季分校等について優先的採択や、一般備品の充実などの要望事項についての報告。)

第2号

産業経済常任委員会町外視察報告

(安塚町菱里農協・小黒農協の育苗施設の視察報告と、昭和53年度より始まる特農の育苗事業について、あと地利用等、企業努力によって郡内他町村並の育苗を農家に配付出来るよう善処してほしい等の要望事項についての報告。)

第3号

産業経済常任委員会町内視察報告

(昭和52年度事業施行状況の視察報告及び昭和53年度施行予定の圃場整備事業(室野・太平)農林道関係整備事業(池之畑・清水)生活改善センター建設事業(蒲生・竹所)集落開発センター建設事業(宇島)等の要望事項についての報告。)

第4号

建設常任委員会視察報告

(昭和52年度施行箇所29ヶ所の調査報告及び昭和53年度要望箇所28ヶ所(改修19・舗装9)の要望事項等についての報告。)

第5号

社会常任委員会視察報告

(東頸城ゴミ処理場・東頸西部葬祭場・特別養護老人ホーム・にしき学園・五智老人ホームの視察結果と要望事項についての報告。)

第6号

蒲生地区の地すべり関連堰堤

工事の設計変更により当初契約金額二千五四〇万円を三千五九六万八千円に変更。

第7号

室野第2地区圃場整備工事の設計変更により、契約の金額を当初の五千万円から五千三二四万二千円に変更。

議第1号 松代町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

(人事院勧告にもとづき、52年4月1日にさかのぼり平均6・94%の給与の増額及び扶養手当住居手当・通勤手当を改定、給与の平均昇給額は八、〇〇五%)

議第2号 松代町老人及び重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

議第3号 土地改良事業の実施について。

(室野赤坂地区土地改良計画)

。団体営事業	13・7 ha
受益面積	11・5 ha
区画整理	昭和三十五年
着工予定	昭和三十五年
完了予定	昭和三十五年
費用概算	七千二六〇万円

(太平島島地区土地改良計画)

。県単事業	7・7 ha
受益面積	6・5 ha
区画整理	昭和三十五年
着工予定	昭和三十五年
完了予定	昭和三十五年
費用概算	四千七四〇万円

議第4号 大字・字の区域の変更について。

(圃場整備事業が実施された池尻・蒲生地区と蒲生・蒲沢地区の小字を池尻字蒲池と蒲生字蒲沢に変更したもの。)

議第5号 新潟県町村人事務組合を組織する地方公共団体の数の増加および規約の変更について。

(町村人事務組合に吉川町を加え、規約の一部を改正。)

会計補正予算(第5号)

(歳入歳出予算の総額にそれぞれ一千九二七万六千円を追加、総額をそれぞれ一億四千八十一万一千円とする。)

。「歳入」主なもの

地方交付税	一千五一七万円
固定資産税	四七七万二千元
諸収入	四六〇万円
を増額。	
国庫支出金	四三一万円
県支出金	九六万三千元
を減額。	

。「歳出」主なもの

給与改定によるもの	一千三六万円
冬期保安要員報酬・クローラ	五五万円
一運転手基本賃金増等	
地方バス路線維持補助金	七四万円

重度心身障害者医療費扶助町の制度分	一一四万円
国・県道工事費負担金	六三〇万円
駅前整備事業費	三二〇万円

道路除雪費	八五五万円
-------	-------

議第7号 昭和52年度松代町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

。給与改定による補正増
 二一八万三千元
 事業勘定歳入歳出予算の総額を三億八千四九一万二千円とする
 診療施設勘定の総額をそれぞれ三千九百九十五千円とする。

議第8号 簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

(歳入歳出予算の総額にそれぞれ一九五万九千円を追加し、総額をそれぞれ六千七十一万四千円とする。)

。「歳入」主なもの
 水道使用料 一九三万四千円
 繰越金 二万五千元

。「歳出」主なもの
 給与改定による補正増 九五万五千元
 電気・薬品・修繕料補正増 一一〇万円

議第9号 農業共済事業特別会計補正予算(第2号)
 (主として、給与改定による補正(次頁下段へ続く))

国民年金の老令年金の

受給者は現況届を忘れずに!!

期限は2月15日です。

国民年金の事務は全部東京の社会保険庁で行われています。年金は、みなさんが年金をもらう手続の時希望した金融機関（松代町では農協・銀行・郵便局）を通じて年四回（通算老令年金は年二回）支払れます。この支払は社会保険庁がみなさんの生存などを確認した上で行われています。みなさんが年金を引き続いてもらうためには、年一回社会保険庁に松代町に住んでいることの証明を出さなくてははいけません。このことを現況届（国民年金受給権者現況届）といえます。現況届は昭和五二年二月一五日以前から年金をもらっている人は必ず出す必要があります。現況届の用紙（ハガキ）は一月一五日頃までに社会保険庁から直接送られて来ますからそのハガキに役場又は支所の戸籍係から証明を受けて（証明書料二〇〇円必要）二月一五日までに必ず社会保険庁に出して下さい。ハガキの住所と

現在住んでいる住所がちがってたら役場の国民年金係に相談下さい。なお現況届を期限までに出しませんと引き続いて年金を支払って良いかの判断がつきませんので届出をされるまで年金の支払を止められます。万一用紙が届かなければ役場の国民年金係の所に有りますから連絡下さい。



忘れると年金のストップも...

戸籍の窓口から

十二月受付分（受付順）

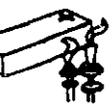
おたんじょうおめでとう



- 柳 友子 父博 長女 千年山都屋 母静子
- 柳 龍一 父東一 二男 松代東食堂 母三千代

- 若井ゆうこ 父岩男 長女 逢平十二樓 母ミツイ

おくやみ (死亡)



- 高橋 福蔵 七六才 田沢 久保田
- 鈴木 定一 六八才 松代 田保
- 柳 萬一郎 七五才 蒲生 与兵
- 池田 音吉 八〇才 田野倉 小坂
- 西潟 タカ 七一才 福島ひぐらし

※ 先月分おたんじょうおめでとうの若井好平・愛子の長女「聖夫」は「聖美」の誤りです。訂正してお詫びいたします。

戸籍の知識 ②

三代戸籍

問 三代戸籍ということを知りたいことがあるがそれはどのような戸籍なのか。また、三代戸籍は現在でもあるのか。

答 昭和二十二年五月三日日本国憲法の施行に伴う民法の応急的措置に関する法律が施行されるまでは「家」制度が存在しており、その「家」を単位として戸籍を編製するものとされていた。その頃の戸籍は家籍であって、同一家籍に属する者は同じ氏を称して同一戸籍に入籍したので

ある。そのため一つの戸籍には戸主を中心として親、配偶者、子、孫、兄弟姉妹等一つの家の構成員のすべてが記載されていたのである。これが、新憲法施行とともに、家制度が廃止されそれに伴って、民法、戸籍法から「家」に関する規定が一掃されたため、戸籍制度そのものに大きな変化が生じたのである。すなわち、家に関する規定がなくなつた後の戸籍は、旧来のような「家籍」としての性格を失い単なる同一の氏を称する者の集団を記録するものへと性格が変更したのである。現在の戸籍は夫婦と、父母と氏を同じくする子のみによって編製されており、現行法上三代戸籍ということとは認められていない。そのため戸籍の筆頭者及びその配偶者以外の者（子）が婚姻すると、その者について新戸籍を編製することになっている。

人口のうごき

1月1日現在

世帯数	1,967	(-6)
男	3,851	(-11)
人口女	3,928	(-7)
計	7,779	(-18)
出生	3	死亡 5
転入	12	転出 28
増計	15	減計 33

むし歯から 子供を守って下さい

むし歯があると、野菜や果物が食べられない、偏食になり幼児の発育が悪くなる。又むし歯には甘いものが悪い、歯みがきうがいが必要だ、と知っていながら実行しないで放っておくのではないだろうか。

むし歯予防は、お母さんへの期待が大きく、又お母さんの心構えや注意で非常に効果があります。基本的なことですが、次のことをもう一度じっくり考えて、少くとも現在よりむし歯を多くしないように努力して頂きたいと思えます。

- ・むし歯を病気とっていない母親が多い。
- ・一たんむし歯になった歯は絶対に元の健康な歯に戻らない。
- ・一度治療しても又むし歯になる。
- ・むし歯は原則として痛くない。
- ・痛くなったらもうおそい。
- ・乳歯でむし歯の多い子は永久歯でも多い。
- ・離乳開始がおそくなる程むし歯が多くなる。
- ・間食の回数が多い程、甘いものが多い程むし歯が多くなる。
- ・穴があいたのは相当進んだ状態で既に他の歯に感染済みである。



回数	むし歯の数
0	3.3本
1	4.8
2	5.7
3	8.5
4	9.8

年齢	サト-
0~7カ月	15~20g
7カ月~2才半	20~25g
2才半~5才	25~30g

おやつ	量	平均
ヤクルト 1本	12.6g	平均15.0g
アイスクリーム		
ヨーグルト	15.2g	
コーラ 小1本	16.0g	
ファンタ 1本	22.6g	
コーヒー } 牛乳	18.5~20g	
フルーツ }		
ドーナツ 1こ	9.6g	
ケーキ 1こ	16.2g	
カステラ 1切	20.0g	
ビスケット 3枚	5.0g	
チューインガム 3枚	9.0g	

十一月の検診結果のむし歯の状態は次のとおりでした。

年齢区分	対象者数	受診者数	むし歯のある子	1人平均本数	むし歯最高保有者数
1才半児	32名	31名	11名 (35.4%)	1.2本	1人で8本
2才児	47名	46名	24名 (52.1%)	2.6本	〃13本
3才児	32名	32名	28名 (87.5%)	6.3本	〃20本

◎年齢が進むにつれて、確実にむし歯が多くなっています。

- ◎2才児（処置して○の子3人も含まれています。（）内は保護者名）
- 松代 市川 稔（健一）
小林 静一郎（豊）
柳 英一（東一）
関谷 和明（藤雄）
鈴木 尚徳（幸一）
横田 博文（信之）
関谷 仁美（正行）
関谷 睦美（司郎）
関谷 里美（光夫）
樋口 美佐子（政徳）
相沢 希（美和）
高橋 民枝（紘次）
柳 輝幸（一栄）
若井 清美（健吉）
小野 島信子（幸市）
中島 恵美子（信吉）
佐藤 雅文（文夫）
山岸 和宏（重雄）
小堺 英樹（正雄）
米持 将人（実夫）
中沢 実奈子（敬）
山岸 弘美（吉弘）
木和田原 山岸 弘美（吉弘）
室野 米持 将人（実夫）
儀明 小堺 英樹（正雄）
蒲生 山岸 和宏（重雄）
滝沢 佐藤 雅文（文夫）
海老 中島 恵美子（信吉）
会沢 小野 島信子（幸市）
蓬平 若井 清美（健吉）
千年 柳 輝幸（一栄）
小荒戸 高橋 民枝（紘次）
小荒戸 相沢 希（美和）

（次頁へ続く）

◆むし歯のなかった よい子

“食べたら歯みがき
飲んだらうがい”

松代 石野 佳弘(卓男)
 会沢 五十嵐弘美(幸吉)
 仙納 室岡 正宏(春男)
 名平 菅井 進(良一)

▲むし歯予防の三原則

- ① 歯自身を丈夫にする。
- ② 歯垢をつけないようにいつもきれいにしてやる。
- ③ 甘いものをたべさせない。

むし歯のない児の母親は料理が上手だという言葉があります。顔に化粧し、入浴して体を洗うように、歯にも時間をかける習慣をつけて子供のむし歯を防いでやりました。

みんな元気で！

——正月帰省バス ——一斉に町内へ——

恒例になりました町の出稼正月帰省バスが、今年も暮れの29日、30日、31日と続々故郷の役場前に到着し、出迎えの家族を喜ばせました。

晴天に恵まれた29日朝の役場前には、町長始め関係者も多数出迎えの中、東京・名古屋方面から5台のバスが到着し、両手いっぱい正月土産を下げた笑顔が続々とバスから降りて来ました。

今年合計15台の帰省バスが運行され、五八三名の方々が利用されました。

町では道路除雪を図り、帰職の場合の対策も考えていましたが、一月四日には、東京方面へ6台、名古屋方面へ1台と計7台のバスが二六五名の方々を乗せ職場へ向いました。

松代高校家庭クラブ 文化祭売上金を寄付

去る十二月七日の新潟日報でも報道されましたが、松代高校家庭クラブの皆さんが文化祭で作品の即売を行って、その売上金二万九千五百八十一円を恵まれない人たちのためにと、新潟日報社を通じて県社会福祉協議会に寄付されました。

このクラブは一昨年の冬と昨年一月の二回毛糸であんだ可愛いチョッキをたくさん施設の子供に贈ってくれました。

このように毎年心あたまる活動を続けております。この人たちが社会に出てからも、この清らかな愛の心を持ち続けて社会の為に尽されることを期待しつつ、今後更にこのクラブが発展されることを祈ります。



雪の重さ



KH

いま、50平方メートル(約15坪)の屋根に50センチの雪が積ったとすると、重さはいったいどれくらいになると思えますか。

およそ七・五トンです。相撲の高見山クラスの力士40人が、一度に屋根にのっかったのと同じです。積もりたての雪はまだふんわりと軽く、比重は(水を一として)〇・一ぐらいですが、降り積った雪は、日がたつにつれて重くなり、比重は〇・三から〇・四ぐらいになります。

平均を〇・三とすると、積雪一メートルで三百キログラム。これが50平方メートルの屋根なら15トンという重さになってしまいます。あなたのお家では、何人くらい高見山クラスの力士がのっかっていることがありますか。

第四回

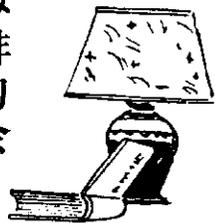
新春囲碁大会結果

恒例の新春囲碁大会を1月8日町総合センターで開催いたしました。

好天に恵まれ、気温も暖かく楽しい囲碁大会になりました。参加者は12名、成績は次のとおりです。

- | | | |
|----|------|--------|
| 優勝 | 武石文雄 | (松代高校) |
| 二位 | 態倉康平 | (松代高校) |
| 三位 | 丸山恵一 | (蒲生) |
| | 富沢恭一 | (松代) |

文芸



しぶみ俳句会

春山他石先生選

十一月十二日

於 松之山湯本つたや旅館

没り陽いま霧永樹林のいただきに
栗を食む子の長髪を憎みけり
遠山に雪きていよよ柿あかし

たつち

頂は夕陽の残る山紅葉

取り入れも終え念願の湯本行

紅茶

訪えば炭焼き白き歯を見せて

親しきの炭焼小屋に粉炭買う

淡水

冬囲いはや始まりし尼の庵
豊作の刈上げ餅の大いなる

公明

到来のしめじ油に炒めけり

立冬の声きき夕べの風強し

八千代

大根の白さ目にしむ日和かな

悠歩

国境 霜月十日 初雪す

六花

落葉道 梢越しなる遠嶺雪

枯水

連峰の 初冠雪の 国境

立石

あいさつも雪降ることを初しぐれ

貞水

席題「湯本風呂」

(6)

風出でて洗ひし莖菜に落葉かな

悠歩

宴会は揃い丹前 句集成る

淡水

明け初むる山の湯霜に静もりぬ

六花

湯煙に江葉且散る谷の木々

たつち

一風呂を浴びて句会や今朝の霜

公明

菊湯宿 二日酔なる朝句会

立石

陽のさして来て落葉の始まりぬ

枯水

霜白き湯本車庫より始発バス

紅茶

湯鏡に もみじと吾と鳶の宿

貞水

だ性の如く

(夏より師走へ)

西潟まささを

みずぎぼうしひっそりと咲けり小
雨降る泉水の畔つみ石のかげ

紫陽花もうつむいて咲く朝よりの
雨小止みなく日ぐれまで降る

青じその芽を摘みて来て食事せり
新鮮なかほり今日の初めに

往きかへり見つつ通りし友の家友
亡き今日も見つつ通れり

花を咲かせ盆栽を並べかたわらに
佇む人を思いつつ通る

余生と言ふたよりなき言葉と生活
を思いつつ妻と茶をすすり居り

暖かき曇り日の午後田圃の中の路
を歩めり日課の如く

みぞぞばも野菊の花も混り咲きく
ちなわひとつ路を横断る

用ずみの用水はただ惰性のごとく
溝を流れり音もたてずに

誰やらにじっと見られて居る感じ
昏れ近き橋をいそいで渡る

孫娘等と共に見て居るテレビのま
ん画たのしき時あり淋し日もあり

さまざまのコマージュルを見つニ
ユースを聞きつ師走と言ふをあら
めて思ふ

三匹の猿の木ぼりを机においてし
みじみとながめやがて苦笑す

雪の来る気配かカラス鳴きさわぐ
星隠れ雪のきざしか雷近く

ひねもすの永雨に日暮の来る早さ
川波を濁らし永雨降りつゞく

山は雪村に永雨の音たかく
枯木立小さな山のレストラン

冬口向子猫ぢゃれをるもの影に
年の暮鮭の値札に太い息

春

蒲生 清水 朴子

朱色の日の出をおがもう
峠の雪も紅春をいわっている

越光とソバのおいしい
ぐるりが山のこの里

出稼のおとうは船若湯で
頬をそめはにかんでいる

おっかば萬丈の気を吐き
春駒のようにたくましい

深い雪にうもれても
じっと耐えるどち

またくる春のため
いのちの蕾を用意する

新年雑詠

千年 柳 茶水

松飾り米のなる木で宝舟
ぐくくりついで一服除夜の鐘

ともかくも無事迎えたり午の年
天と地の恵み尊しお元日

恙なく一家なごやか初詣で
元日や家じまんの梅も咲き

日の丸をかかげ元朝の日を拝む
バラ色に染て障子の初明り

不具の手も仕事始めと雪おろす

俳句

冬季雑詠

千年 柳 茶水

木の葉降る寺の石坂掃ききれず

信濃善光寺にて

時雨沢つけば時雨の晴にけり

